

## 平成29年度 学校評価報告書

学校名

三田市立八景中学校

## 1 学校教育目標

夢や希望をもち、目標に向かってたくましく生きる生徒の育成

## 2 今年度の学校重点目標

- (1) 自尊感情の育成 (2) 学習指導の充実 (3) 生徒指導の充実  
 (4) 人権教育の推進 (5) 安全教育の推進 (6) 読書活動の推進  
 (7) 保幼小中の連携 (8) 家庭・地域・関係機関との連携  
 (9) 勤務時間の適正化

## 3 総合的な自己評価

アンケートの結果から、生徒は学校や学年、学級の目標に向かって、日々粘り強く前向きに頑張っていると言える。また、教育課程・学習指導、生徒指導、家庭・地域との連携の各項目においても、好ましい状況にあると言える。

「学力向上」特に「家庭学習」、「危機管理」、「読書」、「挨拶」、「地域行事やボランティアへの参加」に引き続き取り組み、自分や八景中学校、ふるさとに誇りと愛着を持てるようにしたい。

## 4 総合的な学校関係者評価

前年度のアンケート結果と比較すると、ほとんどの項目について良くなってきている。特に、生徒や教職員が手応えを実感しており、継続した取り組みの成果と言える。情報発信をさらに工夫し、保護者や地域の理解と協力を得ることで、学校教育目標やめざす子ども像の実現を一層図ってほしい。

## 5 評価結果

| 自己評価  |   |   |   | 学校関係者評価  |
|-------|---|---|---|--|
| 分野・領域 | 評価項目（取組内容）  | 評価結果及び分析  | 改善の方策   | 学校関係者評価委員会の意見  |
| 教育目標  | 学校教育目標や重点目標、目指す生徒像を意識した教育活動が日々実践されているか。                     | 目標に向かって、日々粘り強く前向きに頑張っている。また、毎日楽しく学校に通っている割合が高くなった。                      | 学校教育目標やめざす生徒像の浸透を一層図り、保護者、地域、教職員が一体となって生徒の自尊感情や教育環境を高めていく。  | 社会で生きていく力を育てるべく、粘り強く取り組む、痛みが分かる、感謝できる生徒であってほしい。そのために、学校と家庭、地域が連携すると共に、それぞれの役割を担っていきたい。 |
|       | 生徒が学習する場としての教育環境が整っているか。                                    | 地域ボランティアの方々にお世話になり、机と椅子の脚にテニスボールを装着し、静かな環境を整備できた。その他、校門の門扉を閉めるなどの対策をした。 | P T Aや地域と連携し、一層の環境整備充実を図る。また、防犯カメラの設置や八景坂の整備等について、引き続き要望する。 | 環境整備と危機管理が進んだことは大変評価できる。八景坂を普通車両や緊急車両がスムーズに通行できないことは、引き続き問題として要望すべきである。                |
| 教育課程  | 適切な時期と目的により、充実した学校行事を実施できているか。                              | 有意義な学校行事や生徒会活動を行えている。プレスや学校HPにも積極的に発信している。                              | 自主的な活動ができるよう、生徒会活動と一層連携する。                                  | 学校行事や生徒会活動が新聞に度々掲載されていた。その他、学校便りやホームページで、学校の様子をよく知ることができた。                             |
| 学習指導  | 「学力向上指導改善プラン」に基づき、授業改善・家庭学習・読書活動・放課後の学力補充・小中連携の充実に取り組んでいるか。 | 授業改善、放課後の学力補充にも力を入れて取り組んだ。家庭学習や読書活動の推進が課題である。                           | 「学力向上指導改善プラン」の取り組みを継続するとともに、家庭への啓発と発信を行っていく。                | 5つのプランが明確であり、それぞれの充実を一層図ってほしい。   |

|           |   |  |  |   |
|-----------|---|--|--|---|
| 生徒指導      | 教育相談の充実により生徒理解に努めるとともに、問題行動の早期発見・早期対応、未然防止に取り組んでいるか。        | アンケートや教育相談などにより、生徒理解と早期発見・早期対応を行っている。      | 今後も生徒理解に一層努める。また、「あいさつ」については、家庭や地域、生徒会と一体となった取り組みを工夫する。        | 地域で、生徒は登下校時に大変よく挨拶ができています。自転車通学の安全については注意が必要であり、地域でも声かけをしていきたい。       |
|           | 「学校いじめ防止基本方針」に基づき、いじめ問題に迅速かつ組織的に対応できているか。                   | 学年会や生徒指導委員会で情報共有と方針決定を行い、組織的に取り組んでいる。      | アンケートや教育相談を継続し生徒理解に一層努めるとともに、「学校いじめ防止基本方針（改定）」を生徒や保護者にも周知していく。 | 教職員は率先して人権感覚を持った教育活動をお願いする。良い言葉遣いやマナーを大人も示していきたい。                     |
| 家庭・地域との連携 | 通信やHP、オープンスクールによって家庭や地域に情報を発信し、開かれた学校づくり・信頼される学校づくりができているか。 | 「学校トピックス」を通じて、学校の様子を積極的に発信した。              | HPの充実を図り、引き続き積極的に情報を発信していく。                                    | オープンスクールや入学説明会の体験授業はとてもよかった。継続してほしい。<br>「一緒にご飯を食べる」。このことを家庭で大切にしてほしい。 |
|           | 学校運営へのPTAや地域住民の参画、及び協力を推進しているか。                             | PTAや地域ボランティアの方々に行事の受付や見守り、環境整備などを助けていただいた。 | 学校支援ボランティアの日常的な導入を検討する。  | 学校支援ボランティアは組織化する必要がある。地域コーディネーターを配置し、できることから進めていくのがよい。                |

## 6 学校自己評価の実施状況について

| 時 期    | 内 容                   |
|--------|-----------------------|
| 12月20日 | 生徒・保護者・教職員対象にアンケートを実施 |
| 2月13日  | アンケート結果及び学校自己評価のまとめ   |
| 3月1日   | アンケート結果を保護者に配布        |
| 3月5日   | 学校評価の総括               |

## 7 学校関係者評価委員会の活動について

| 時 期   | 内 容                          |
|-------|------------------------------|
| 7月12日 | 第1回学校関係者評価委員会（学校教育目標説明、評価計画） |
| 9月18日 | 体育大会参観                       |
| 11月3日 | 文化祭参観                        |
| 1月27日 | オープンスクールでの参観                 |
| 2月28日 | 第2回学校関係者評価委員会（評価・総括）         |

※学校自己評価…外部（児童生徒・保護者・地域等）アンケートの実施を含む

## 8 学校評価の公表について

| 時 期 | 手 段      | 内 容                                      | 添付 |
|-----|----------|--|----|
| 3月  | 学校ホームページ | 「学校評価アンケート結果」、「学校評価報告書」を掲載。              | ○  |
| 3月  | 学校便り     | 学校評価（学校自己評価及び学校関係者評価）結果を記載。保護者に配布、地域に掲示。 | ○  |
| 4月  | PTA総会    | 平成29年度学校評価結果を踏まえ、平成30年度の取組等を説明。          |    |

※ 公表の具体がわかる印刷物等がある場合には添付願います